

令和7年第3回さくら市議会定例会一般質問順番

令和7年9月4日（木）午前10時～ 3人

質問順番	質問者名
1 番	吉田 雄次 議員
2 番	加藤 朋子 議員
3 番	永井 孝叔 議員

1. さくら市の観光振興について

以下、次の項目について、現在までの取組みと今後について伺う。

- ① 市内観光資源及び農産物の PR について
- ② 観光客をターゲットにした農業体験の創出について

答弁を求める者 市長

2. さくら市総合公園ゲートボール場のトイレ改修工事について

- ① 現在のトイレは和式トイレとなっているが、なぜ洋式トイレに変更出来ないのか？
- ② 高齢者の為に必要性がある。

答弁を求める者 市長、教育長

1. こども施策のさらなる充実を求める

当市のこども関連施策において、以下の点に関して市長の考えを問う。

- ① 保育園児のために、おむつサブスクを導入する考えは。
- ② 保育園入園時にマイナポータルピットリサービスを導入する考えは。
- ③ 男性育休取得率を上げる方策は。
- ④ 不登校児童生徒向け施策の現状と今後は。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 居場所づくりについて

近年、社会的孤立や関係性の希薄化が課題となる中、世代や立場を超えて人々が集い、互いに支え合う「居場所づくり」の重要性が高まっている。

多様な世代、多様な背景を持つ市民がつながり、幸福感や生きがいを育むことは、地域全体の活力向上にもつながると考えるが、現状を踏まえて今後の在り方について市長の考えを問う。

- ① 中高生の居場所づくりの現状と課題は。
- ② 不登校児童生徒の居場所は。
- ③ 高齢者の居場所の現状と課題は。
- ④ 空き家や遊休施設等を利活用する考えは。

答弁を求める者 市長、教育長

1. さくら市役所本庁舎の整備について

1969年に竣工したさくら市役所本庁舎は、今年で築56年目となり、①建物の老朽化及び施設面の機能低下②スペース不足・庁舎の分散化③防災拠点としての機能不足等の課題を抱えている。既に塩谷町では、防災機能を強化した役場新庁舎を一昨年11月にオープンさせた。また、高根沢町では、令和6年3月に「高根沢町新庁舎整備基本計画」を策定するなど、令和10年度の竣工に向け動き出している。

そこで、本市においても「さくら市新庁舎整備基本構想」を市民の意見を踏まえ策定し、新庁舎整備に着手すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

2. 福祉の充実について

中村市長は、障害者や市議会の意見に真摯に耳を傾け、障害者やそのご家族の負担軽減を図るため、重度心身障害者医療費助成制度の助成方法を「現物給付」に切り替えられるよう努めると先の議会で表明された。これは、前市長時代の方針を180度転換する決定でありこの英断を高く評価する。

そこで、現在の検討状況及び「現物給付」の実施に向けた今後のスケジュールについて伺う。

また、近年、地域における福祉にまつわる生活課題は、多様化、複雑化している。こうした中、下野市では一昨年10月に「福祉まるごと相談窓口」を開設し、どこに相談したらよいのか分からない福祉に関する市民の困りごとを受け止め、様々な分野の相談員と緊密に連携しながら課題解決に向け取り組んでいる。

そこで、本市においても福祉に関する一元的な相談窓口を設置し、市民の人権の擁護と社会福祉の一層の増進に努めるべきと考えるが市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

3. 屋内温水プールの建設について

小中学校のプールは屋外にあり、最近では温暖化の影響から「熱中症警戒アラート」が発令され、暑すぎてプールが使用できないということもある。また、老朽化したプールを各学校毎に修繕するには多額の財政支出を要することから、学校の水泳の授業を廃止した自治体もあると聞く。

こうした中、本市では前市長時代に「市内プール最適化基本方針の中で、屋内温水プール建設を検討する」と議会で表明している。また、併せて新設したプールに同地区の小中学校水泳授業を集約化する意向も示していた。

そこで、「屋内温水プールの建設」について、中村市長はどのように考えているのか、またこれまでの検討状況について併せて伺う。

答弁を求める者 市長、教育長